

就労支援センターりぼん

1) R7年10～12月の実績報告

1日あたり利用人数 10月 20件 11月 20件 12月 19件
登録者 569人（12月末現在）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計
10～12月就職者	2	3	5	0	10
10～12月離職者	2	0	0	0	2
前月までの就職者	34	171	138	2	345
合計	34	174	143	2	353

（12月末現在）

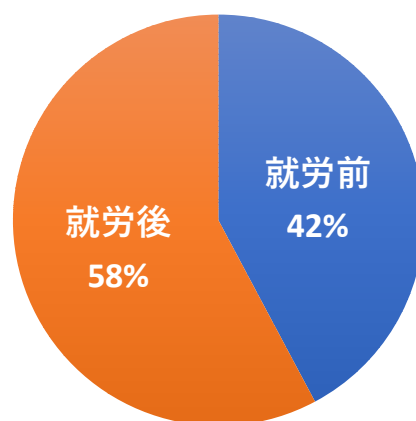
2) 支援内容

①	経緯と今後の支援
入職	身体障害者は男性2名で、それぞれ製造業に就職する。知的障害者も男性3名で、製造業と物流関係に就職する。精神障害者は男性2名、女性3名で卸売業・スタートライン関係・金融業・省庁・情報通信業と様々な業種に就職する。今後は定着支援として職場訪問や面談などしていく。
離職	知的障害者の男性1名で、化粧品会社の特例子会社で10年以上働いていたが、人間関係のトラブルにより退職となった。今後は福祉サービスを検討し、関係機関と連携していく。
転居	身体障害者の男性1名で、脳性麻痺による機能障害のある方。人材派遣会社の特例子会社に就職し在宅ワークとなる。他市に転居したため、地元の就労支援センターに引き継ぎをする。

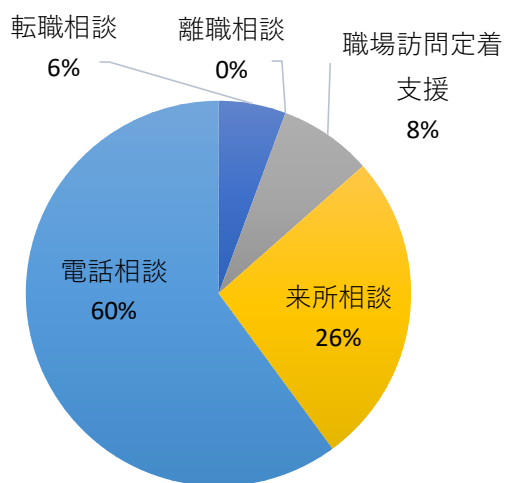
- ② 10～12月は、未就労者の職場実習が集中する時期であり、日程調整や企業との情報共有が増加した。それに伴い、実習に関する電話・メール対応、実習先への訪問が多く発生した。就労者からは転職相談が増加しており、「現在の職場からステップアップしたい」「職場環境が合わない」といった理由が主な相談内容であった。また、来年度の法定雇用率が2.7%へ引き上げられることを受け、これまで障害者雇用の実績がない企業からも問い合わせが見られた。実際に企業からの依頼により見学の機会も得られた。障害のある方が働きやすい環境を整えるためには、本人支援だけでなく、企業側の受け入れ準備も重要である。りぼんとしては、今後も企業の理解促進や環境整備に向けた支援を継続していく。
- ③ 10～12月は、りぼん主催のイベントを2件実施した。10月には、就労者を対象とした余暇支援イベント「第1回はたらこサロン」を開催した。内容は、〇×エリアに移動する形式のクイズと風船バレーで、昨年度と同様に参加者から好評を得た。12月には、昨年度まで実施していた「働くを考えるつどい」に代わり、「第2回はたらこサロン」（午前）と就労相談会（午後）を実施した。午前のサロンでは、就労者と未就労者の交流を目的にグループトークとモルック大会を行い、初めてモルックを体験した参加者からも「楽しめた」との声が寄せられた。午後の相談会では、午前から引き続き参加した就労者の面談を行ったほか、B型事業所に通所している方の相談もあった。すぐに就労につながるケースではなかったものの、今後の就職を見据えた相談内容であった。余暇支援については、周知を行っても新規参加者が少ない状況が続いているため開催頻度の見直しを検討している。また、相談会などの啓発的な取り組みについては、より丁寧な周知を行い、社会資源につながっていない方やその家族がりぼんを知るきっかけを作っていきたい。
- ④ 11月には就労関係の会議として、障害者就労支援センター等連絡協議会ブロック会、第2回所沢地区特別支援学校等進路連絡協議会、第3回障害者就労支援機関情報交換会が開催され、西部圏域および県主催の会議に参加した。いずれの会議においても、共通の議題として就労選択支援事業の進捗状況が共有された。県内全体を見ても、本格的に事業を開始している事業所はまだ少ない状況である。また、市によっては、自立支援協議会の部会でこのテーマを取り上げ、専門家を招いた勉強会を実施するなど、理解促進に向けた取り組みを進めているところもあった。

大分類	小分類	計
就労前に関する支援	訪問相談	12
	来所相談	166
	電話相談	237
	就労準備・面接指導等	5
	同行・企業見学	4
	職場開拓	16
503	職場実習	63
就労後の支援	転職相談	39
	離職相談	0
	職場訪問定着支援	54
	来所相談	182
689	電話相談	414
その他	会議等(ケース会議以外)	6

就労前後の支援割合



就労者の支援内容



就労前の支援内容

